

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 油山福祉の里作成日: 平成 29 年 10 月 29 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議に地域代表や家族、他事業所から多くの参加があるので、報告会で終わらずに、地域全体の課題を取り上げて、地域と協力し、問題解決に向けて対応していく。	複数の民生委員や薬剤師、交番のおまわりさん、地域の有識者、知見者に参加を募り、高齢者の問題や、地域で困っている課題等を話し合い、参加委員が協力し、解決に向けて取り組み、会議に参加することで、知識や情報を得て、地域貢献に取り組む関係を構築していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	毎年法人全体で行う避難訓練は実施しているが、ホーム独自の訓練が出来ていないので、職員が非常時に冷静に利用者全員を安全に避難場所に誘導出来るように、何度も訓練を繰り返し、職員の自信に繋げていく。	夜間を想定して夜勤者が9人の利用者全員を、短時間で冷静に避難場所に誘導出来るように、自信がつくまで訓練を行い、夜勤者一人ひとりのタイムを計り、目標タイムが出せるように工夫し、職員全員が非常時に自信をもって対応できる取り組みを行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。